

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅲ-4-1 多様な自然の保全
---------	---------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 自然環境課長 齋藤晃大 電話番号 0852-22-5346

事務事業の名称	自然環境保全地域の保全事業
目的	(1) 対象 自然環境保全地域の自然 (2) 意図 優れた自然環境を保全するため、自然環境保全地域を指定し、多様な生態系を守る。
事業概要	「島根県自然環境保全条例」に基づき指定している「島根県自然環境保全地域」の適正な保全を図るため、地元の保護育成団体に保護管理を委託するとともに、自然保護指導員を配置し、巡視活動等を実施する。

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	自然環境保全地域の数	目標値	6.0	6.0	6.0	6.0	地域
	式・定義	自然環境保全地域の数	実績値	6.0				
			達成率	—	—	—	—	
2	指標名		目標値					
	式・定義		実績値					
			達成率	—	—	—	—	

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	986	1,119
うち一般財源 (千円)	986	1,119

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

- ・自然環境保全地域（6地域）の維持管理を各地域の地元住民で構成している保護育成会に委託している。
- ・赤名湿地性植物群落自然環境保全地域については、地元保護育成会、町、県が連携してボランティアを募り、草刈り等の保全活動を実施した（40人参加、6月）。
- ・自然保護指導員による巡視報告は44件で前年度と比べて12件減少した。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

・地元保護育成会の維持管理と自然保護指導員による巡視活動や観察者への適切な指導により自然環境保全地域（6地域）の自然環境の保全が図られている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

自然保護指導員及び地元保護育成会の活動の縮小が懸念

②困っている状況が発生している「原因」

人口減少と高齢化による自然保護指導員の担い手減少

③原因を解消するための「課題」

自然保護指導員の担い手育成、他地域のボランティア団体との連携・協力が必要

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

- ・自然環境保全地域でのボランティア活動への積極的な参加や広報・PR等を通して自然保護活動への参加を広く呼びかけるとともに、自然保護に興味・関心のある人の掘り起こしを図り、ボランティア活動への参加を促す。
- ・地元保護育成会と意見交換しながら今後の維持管理体制・方法等を検討する。

9. 追加評価（任意記載）

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。